

桐生西ロータリークラブ週報



2016-17年度RIテーマ ジョンF. ジャームRI会長

ROTARY SERVING HUMANITY 人類に奉仕するロータリー



例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp TEL 0277-22-9155
 URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi FAX 0277-44-2777
 会長 前原榮一 幹事 東郷 学 クラブ会報・雑誌担当 新木明夫
 広報活動委員長 山形 剛 委員 鳥嶋隆一、高森 勉(歴史編集・IT-CICO担当)、池末晋介

No. 2068

2017年3月17日発行



第2193例会 (2017・3・10) 報告



健康管理担当 家族会合同早朝健康診断 実施

家族会も交えての恒例の早朝健康診断を、いつもよりひと月半程早い3月10日(金)午前7時から、桐生メディカルセンターで行いました。会員40名、家族会員5名が受診致しました。

やはり今回も開始時間の約1時間前からのスタートとなり、7時をまわった頃には殆どの方が検査を終了するというスピーディな早朝健康診断でした。予定より早く開始できますのは、当クラブの実情を良くご理解いただいて、早くから会場の開錠と準備をして下さる臨床検査技師の瀬谷様のお陰です。

そして、健康管理担当の野田真一郎会員と東郷庸史会員の2名のドクターと、希望の家療育病院さんと恵愛堂病院さんの夫々2名の看護師さんにも、30分以上も前からお越し頂いており、感謝申し上げます。

当日は、血圧測定を2名のドクターが、看護師さんが採血を、検査技師さんが検尿を担当して下さいました。検査が終わった方から順に、SAAさん特製の朝食をお持ち帰り頂いて、終了となりました。

この検査の結果は、4月7日(金)第2197例会で、野田会員からご報告頂くことになっております。



トップは坪井様ご夫妻でした。これから 家族会員は昨年6名今年5名でした。野田先生、昨年に引き続き 臨床検査センター技師のお二人です。南三陸町に法要に行かれるそうです。受診率が増えて定着すると良いです。早くからありがとうございます。1時間以上も前から準備万端です。



東郷先生、今年は早くから有難うございました。お二人の先生方に気安く相談に乗って頂けます。最後に野田先生も受診されました。

桐生西RACナンタナー・プーイさん歓送会開催

3月12日(日)午後7時から相生町のグランシェフに於いて、桐生西ロータリークラブ会員ナンタナー・プーイさん(国籍:ラオス)の歓送会を行いました。



プーイさんは2014年に桐生西RACに入会し活動していましたが、この春、群馬大学修士課程を修了し埼玉県の企業に就職が決まった為、退会する事になりました。



ホソ会長からプーイさんへ記念品を

桐生西RACからは10名(男女5名づつ)が、当クラブからは、前原榮一会長、東郷学幹事、栗原秀一奉仕プロジェクト委員長、小林

尚、プーイさんが退会された後は、桐生西RAC会員は14名となります。(下記の通り)

栗原奉仕プロジェクト委員長からバッジ授与



左からクワン君、ロンホア君、レバリン君、オリギル君、マリサーさん、生井さん

- | | | |
|-------------------|---------|--------|
| ブレブスレン・ホランさん | (モンゴル) | 会長 |
| マニメル・ワドウ・サハ・ドゥララ君 | (スリランカ) | 幹事 |
| グエン・トゥ・ピエン君 | (ベトナム) | |
| スレーントーン・ブウピライさん | (ラオス) | 米山奨学生 |
| ティ・ラタナーさん | (カンボジア) | 米山奨学生 |
| チャン・ティ・トゥー・タオさん | (ベトナム) | |
| レ・バリン君 | (ベトナム) | 野村建設勤務 |
| ド・フウ・クワン君 | (ベトナム) | 野村建設勤務 |
| ロン・ホア君 | (ベトナム) | 野村建設勤務 |
| ピラワン・マリサーさん | (ラオス) | |
| ロビン・ベルメット君 | (フランス) | |
| ガンスフ・オリギル君 | (モンゴル) | |
| 生井美帆(なまいみほ)さん | (日本・栃木) | 群大生 |
| 周志祥(シュウシヨウ)君 | (中国) | |



《次例会予告》B方式

3月24日(金) 外部卓話『水と衛生月間に因んで』

NPO 法人 小島昭研究所 理事長 小島昭様

ロータリー学友世界奉仕賞に緒方貞子氏!



元国連難民高等弁務官であり、元ロータリー国際親善奨学生緒方貞子氏に、2016-17年度ロータリー学友世界奉仕賞が贈られました。

外交官の家族に生まれた緒方氏は、第二次世界大戦後、国際関係に関心を抱き、米国ワシントンD.C.のジョージタウン大学大学院へ留学。1951年、日本人として2人目のロータリー国際親善奨学生となりました。

「ロータリー奨学生として留学中、社会奉仕の重要性を学んだだけでなく、ロータリアンの方々との交流を通じて、見識を広げ、さまざまな経験ができた」と緒方氏は振り返ります。「『超我の奉仕』というロータリーのモットーに深い感銘を受け、以来、これが私の人生の指針となってきました」とも述べられました。

カリフォルニア大学パークレー校から博士号を取得後、日本に帰国した緒方氏は、ロータリー平和センターがある国際基督教大学と早稲田大学で教鞭をとりました。その後、1991年に国連難民高等弁務官 (UNHCR) に就任。さらに、国連総会で日本代表、国連日本政府代表部とユニセフの執行理事会議長も歴任しました。

国連難民高等弁務官としての10年間、緒方氏は、湾岸戦争、ルワンダと旧ユーゴスラビアでの民族紛争、冷戦時代のアフガニスタン紛争における難民、そして旧ソビエト連邦から逃れてきた難民を支援しました。

難民問題と国際的な安全保障には深い関係があると訴えることで、国連難民高等弁務官事務所予算と人員を拡大。国連安全保障理事会との関係を強化し、その貢献が高く評価されています。「難民を守ることは、その性質上、論争的となり得る」と緒方氏。「行動を重んじるダイナミックな (UNHCR の) 活動を実行するには、主権国家に挑むことが求められます。これらの国は自国民以外、そして時には自国民への対応に迫られるからです」

2000年に UNHCR を退職後も、政府や国際関係の舞台で積極的に活動し、国連人間の安全保障委員会共同議長やアフガニスタン支援日本政府特別代表などを歴任。国際協力機構 (JICA) の理事長を2期務めたほか、小泉純一郎元首相が設置した有識者会議のメンバーとしても活躍しました。

政府関係の仕事に携わったことで、変化をもたらす民間人と市民グループの力を知ったと緒方氏は、「私たちは急速に変化する世界に生きています。世界がこれまでになく複雑な脅威にさらされている中で、市民社会の役割や人びとのつながりが、これまで以上に重要性を増しています」と話します。

(Rotary ウェブサイトより)

医療法人 社団 東郷会 恵愛堂病院

理事長・院長 東郷庸史

みどり市大間々町大間々504-6

TEL 0277-73-2211